

# 「広島神楽」定期公演へようこそ！

公演日 11月19日

## 出演団体のご紹介

### 雄鹿原上組神楽団 ～おがわらかみぐみかぐらだん～（山県郡北広島町）

明治初め、島根県浜田市（旧金城町七条地方）より神楽の伝承を受け、以来130年間続いている神楽団です。伝承された古来からの舞方を継承しており、22名の団員で活動しています。保持演目は15演目あり、広島県内外の奉納かぐら屋各種イベントでの上演のほか、シンガポールやアメリカ（シアトルやハワイ）などの海外公演も行ってまいりました。

ご声援よろしくお願ひいたします。

## 19:00～ 演目①

### 塵倫（羽白熊鷲）～じんりん（はじろくまわし）～

羽白熊鷲という身に翼をもって天空を自由自在に飛び交い庶民を苦しめる悪鬼を大神である息長足比売命（おきながたらしひめのみこと）が隨身とこれに立ち向かい、格闘の末、見事退治するという物語です。

他団体の保持している「塵倫」とは異なりますが、雄鹿原上組神楽団ではこれを「塵倫」として舞っています。

#### 【出演】

息長帯比売命	—	深井 哲也
隨身	—	中東 勇太郎
羽白熊鷲	—	中東 善弘
大太鼓	—	壽老 更太郎
小太鼓	—	市原 健
手打鉦	—	加計 靖幸
笛	—	豊田 勝成

演目が変更になりました。あらかじめご了承ください。

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

## 20:00～ 演目②

### 八岐大蛇 ～やまたのおろち～

出雲の国に暮らす足名椎（あしなづち）・手名椎（てなづち）老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の姫が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の姫・櫛名田姫（くしなだひめ）は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原（たかまがはら）から舞い降りた須佐之男命（すさのおのみこと）が通りかかり、その訳を聞きます。

命は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折（やしおり）の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた尊は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）と名づけ、天照大神（あまてらすおおみかみ）に捧げます。そしてめでたく櫛名田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

#### 【出演】

須佐之男命	—	深井 哲也
足名椎	—	清水 幸夫
手名椎	—	宮地 弥樹
櫛名田姫	—	岡寄 貴司
大 蛇	—	加計 靖幸
大 蛇	—	沖中 満春
大 蛇	—	中東 善弘
大 蛇	—	深井 明
大 蛇	—	市原 健
大 蛇	—	富長 弘樹
大 蛇	—	岡寄 賢二
大 蛇	—	清水 幸展
大太鼓	—	俵屋 博昌
小太鼓	—	中東 勇太郎
手打鉦	—	中東 善貞
笛	—	豊田 勝成

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

終演後（20:45頃～）記念撮影会を実施します。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。